

○ 医療安全の活動紹介 ②

先月号では、医療安全管理室の役割や活動内容などについて紹介させていただきましたが、今月も引き続き医療安全の活動内容について、医療安全管理室 中屋美智室長に説明していただきます。

活動紹介

◆ 院内監査：ルールへの順守の確認、ルールへの有効性についての評価

ルールをたくさん作ったからといって医療事故が無くなるわけではありません。そのルールが順守されている・医療事故防止に有効に働いていることを確認することが重要です。

そこで、医療安全管理委員や現場マネージャーである『監査メンバー』が、実際に医療現場にお邪魔して、これらの評価を定期的に行っています。



腕章をつけているのが監査員

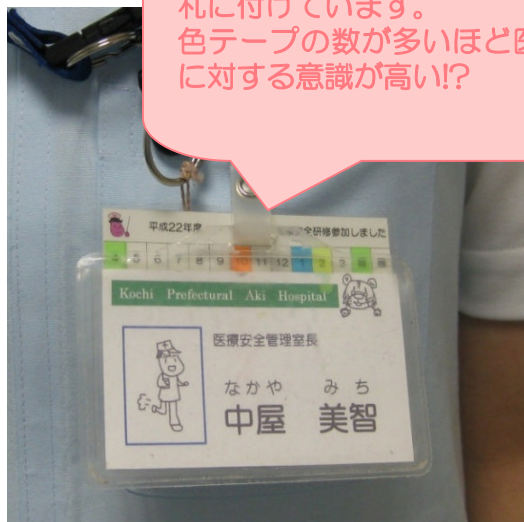
◆ 医療安全研修：事故を起こさないための教育・指導

第3金曜日は、「医療安全研修の日」として、4年以上前から、医療安全に必要な知識や技術の習得を目的とした研修を毎月行っています。

平成21年度の医療安全研修の実績

4月	手術室の取り組み 「O子さんの手術を通して」	12月	有効活用しよう！MAXFAST
5月	インスリン製剤の販売名変更とそれに伴う注意点	1月	院内感染対策への環境整備 新型インフルエンザの基礎知識
6月	食品衛生管理について	2月	現場マネージャーの取り組み
7月	MRI入室時チェックの再考	3月	院内Web研修 2009年度インシデント・アクシデント集
8月	正しく理解してますか？SPO2	臨時研修	CV・リザーバーの管理
9月	知っておきたい新型インフルエンザ対策 ～現状と予防の観点から	臨時研修	子宮がん制圧に向けて（日本初子宮がん予防ワクチンの承認をうけて）
10月	体重測定時の注意と体重管理	新人研修	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理と使用方法
11月	福祉機器（車椅子・杖など）の使い方と介助の仕方	新人研修	医療安全 インシデント分析手法を学ぶ

今年度、医療安全研修に参加した者は参加を証明する色テープを名札に付けています。色テープの数が多ければ医療安全に対する意識が高い!?



○ 新病院の建設について

安芸地域の中核的な病院として、地域の医療機関や中央圏の高次医療機関と連携しながら、地域の方々に適切な医療を提供することを目的として、新病院（安芸病院と芸陽病院を統合）の建設を進めています。



今年3月には基本設計業務が完成し、現在実施設計業務を進めており、来年度には建設工事の開始を予定しています。

工事の順番としては、まず、現在の敷地内北側にある芸陽病院グラウンドと患者用駐車場部分に新病院の精神科部分を建設します。その後、現在の芸陽病院の病棟部分を解体し、その跡地に新病院の一般診療科部分を建設、平成25年度中に新病院の本体部分が完成する予定です。新病院の建物の完成後、現在の安芸病院を解体し、跡地に駐車場、植栽などを整備し、平成26年夏ごろのグランドオープンを考えています。

建物の形状は、上図のように2階建ての広い建物の上に2階建ての病棟が3つ重なっているような形状で、病院の規模としては低層の4階建ての免震構造です。また、屋上にはドクターヘリを想定したヘリポートも建設する予定です。



新病院の名称は未定ですが、現在の安芸病院と芸陽病院が統合され、診療科数は18診療科、病床数は一般病床180床、精神病床90床の計270床となります。

現在の安芸病院は改修を重ねているため、非常に複雑な構造となっていますが、新病院では主要な診療エリアが集約されますので、利便性が高くなると考えています。

改築工事は長期にわたるため、期間中、患者さんや近隣にお住まいの皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

